

神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年8月2日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第 30週 平成29年7月24日 ～

平成29年7月30日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ																														

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
R Sウイルス感染症	4		2						2	8		1	6		1									
咽頭結膜熱	1						3	6		10		1	2	3	1			1	1	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	4	1		4			2	3	16			1	1	1	2	2		3	2		3		1
感染性胃腸炎	7	4	6	3	22	10	26	39	6	123		12	20	12	13	6	8	4	3	7	1	11	4	22
水痘	3	7			5			1	1	17		1	5	1	1		4	1		2		2		
手足口病	58	2	28	5	33	25	65	86	47	349	3	32	100	71	42	41	25	12	9	3	2	3	2	4
伝染性紅斑																								
突発性発疹	3							1	3	7		3	2	2										
百日咳						1				1											1			
ヘルパンギーナ	4	6	2	1	10	11	20	17	11	82	1	3	18	15	15	12	8	2	3	2	2	1		
流行性耳下腺炎	3	5			6			7	8	29			1		1	4	3	6	5	2	1	5		1

8月4日は、国立感染症研究所が定めた「はしか予防の日」です。一般に、はしかと称される麻しんは、空気感染し、感染力がきわめて強く、免疫を持っていない人が感染すると高い確率で発症します。現在、国内土着株（D5型）の発生はなく、WHOから麻しんウイルスが存在しない「麻しん排除国」に認定されていますが、海外で感染し、国内に持ち込まれた麻しん事例が散発しています。今年に入ってから、市内での発生報告はありませんが、全国では、第28週（7月16日）までに164例の発生報告がありました（暫定数）。手洗い、マスクのみでの予防は難しいため、ワクチン接種が有効な予防法です。夏休みなどで海外へ出かける際は、渡航先の流行状況を確認しましょう。また、ワクチンを2回接種しておらず、麻しんにかかったことがない人は、接種を検討しましょう。

[麻しんがゼロ | 厚生労働省](#)

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎	1					1				2													1		1				

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

北 区○細菌性腸炎(病原性大腸菌O25)1例:12歳 男
○アデノウイルス感染症1例:2歳 女
垂水区○アデノウイルス感染症1例:6歳 女
○細菌性腸炎(病原性大腸菌O1)1例:年齢性別不明
○細菌性腸炎(病原性大腸菌O18)1例:年齢性別不明
西 区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:5歳 女

【基幹定点（市内 3ヶ所）からの報告】

○無菌性髄膜炎1例:0歳1か月 男

【市内の感染症の状況】

今週の手足口病の定点あたり患者数は11.3人です。市内では、
警報レベル(定点あたり5人以上)継続中です。

[手足口病について | 神戸市ホームページ](#)

手足口病 警報レベル期間(第26週～)の病原体別報告数(累積)

コクサッキーウイルスA6型	コクサッキーウイルスA10型	エンテロウイルス71型
20	1	2

【夏休みに海外に渡航予定のみなさまへ】

[夏休みにおける海外での感染症予防について | 厚生労働省](#)

夏休みで海外へ出かける人際には、検疫所や外務省が提供している感染症情報で
渡航先の感染症流行状況を確認し、その感染症に応じた予防対策を行いましょう。

[予防接種 | 神戸市](#)

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「I」情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2017年8月2日作成

全数把握対象感染症発生状況 （二類感染症 結核）
結核届出患者数は13人(うち潜在性結核感染症5人)です。

全数把握対象感染症発生状況 （三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2017年7月21日	2017年7月24日	2017年7月27日	○157 (VT1VT2)	便培養法	腹痛、血便 水様性下痢 発熱	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 （四類感染症 A型肝炎）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2017年7月21日	2017年7月27日	2017年7月31日	-	血清IgM抗体の検出	全身倦怠感 発熱、食欲不振 肝機能異常	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 （五類感染症 ウイルス性肝炎）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2017年7月19日	2017年7月22日	2017年7月24日	B型	血清でのIgM HBc抗体 の検出	全身倦怠感 発熱、劇症肝炎 黄疸、意識障害	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 （五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
女	80代	2017年7月15日	2017年7月15日	2017年7月21日	-	腹水培養 薬剤耐性の確認	その他 (腹腔内膿瘍)	手術部位感染	-

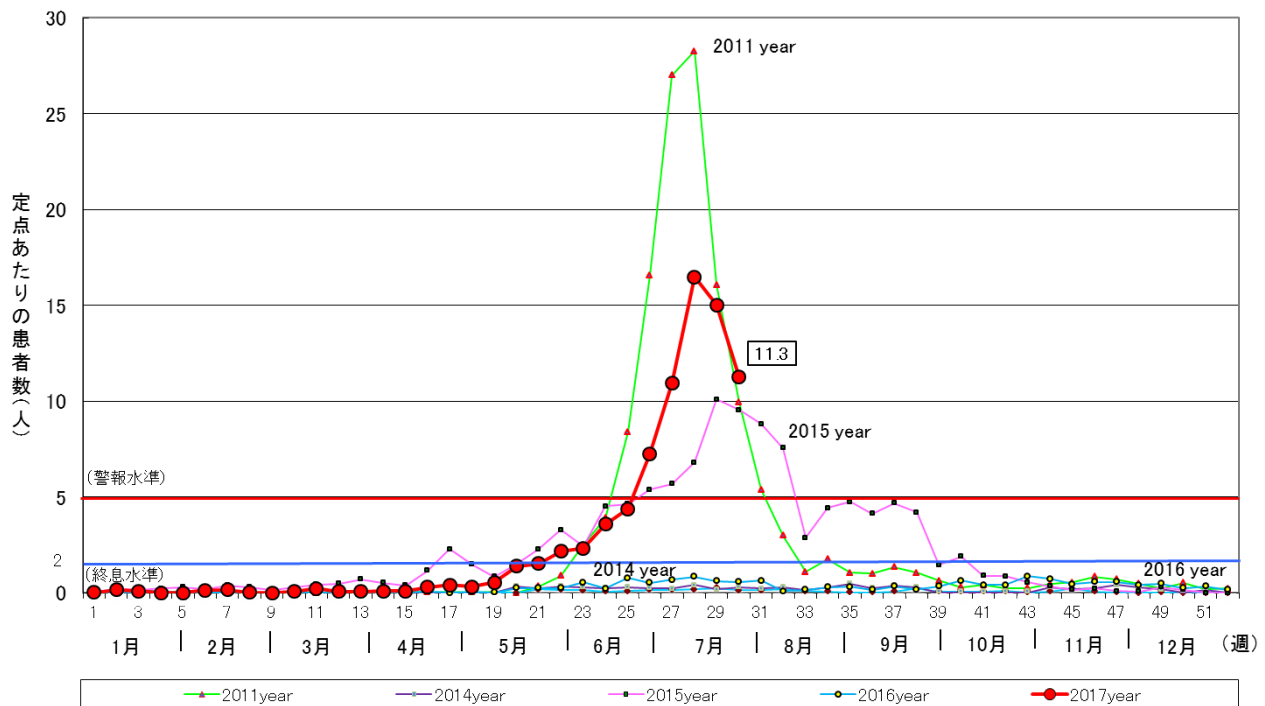
全数把握対象感染症発生状況 （五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2017年7月頃	2017年7月20日	2017年7月20日	A群	分離・同定による 病原体の検出（血液）	ショック・腎不全 軟部組織炎	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 （五類感染症 急性脳炎）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	30代	2017年7月20日	2017年7月22日	2017年7月25日	病原体不明	臨床決定	発熱、項部硬直 意識障害 髄液細胞数の増加	不明	-

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
コクサッキーウイルスA6型	咽頭ぬぐい液	東灘	3歳男児(7/18採取、41.0℃、手足口病)
	咽頭ぬぐい液	中央	2歳7ヶ月男児(7/18採取、38.7℃、手足口病)
	咽頭ぬぐい液	中央	2歳男児(7/18採取、39℃、手足口病)、通っている保育所で複数の患者発生
	咽頭ぬぐい液	北	1歳4ヶ月女児(7/21採取、40℃、手足口病)、家族内発生
コクサッキーウイルスA10型	咽頭ぬぐい液	灘	11ヶ月男児(7/20採取、発熱あり、ヘルパンギーナ)
エンテロウイルス71型	咽頭ぬぐい液	中央	3歳男児(7/18採取、発熱なし、手足口病)
ライノウイルス	咽頭ぬぐい液	中央	3歳1ヶ月女児(7/18採取、37.6℃、手足口病)
	咽頭ぬぐい液	東灘	3歳11ヶ月女児(7/20採取、39.0℃、手足口病)
アデノウイルス2型 (ムンプスウイルス遺伝子検査陰性)	唾液	須磨	9歳男児(6/26採取、発熱なし、流行性耳下腺炎疑い)
カンピロバクター・ジェジュニ	直腸ぬぐい液	西	6歳7か月 男児 発熱(39℃)、下痢(水様性)、腹痛

定点あたりの手足口病報告数



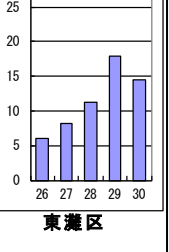
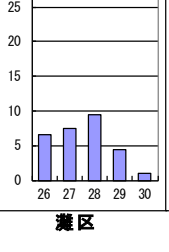
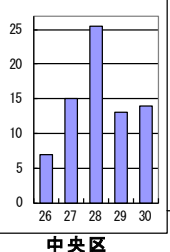
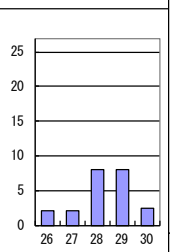
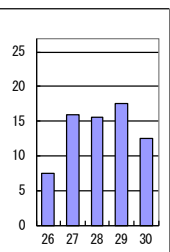
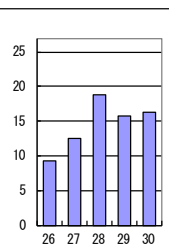
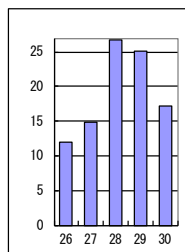
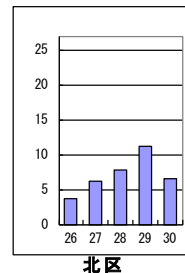
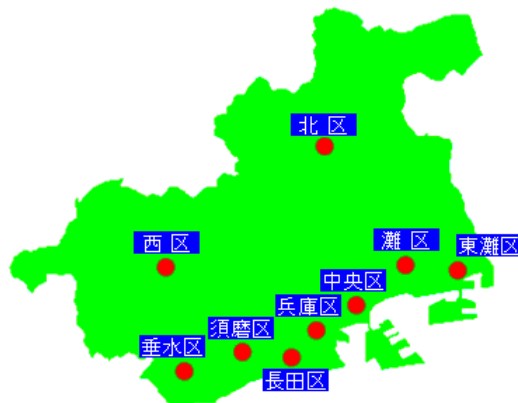
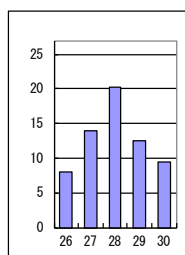
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 26 週 平成29年6月26日

～

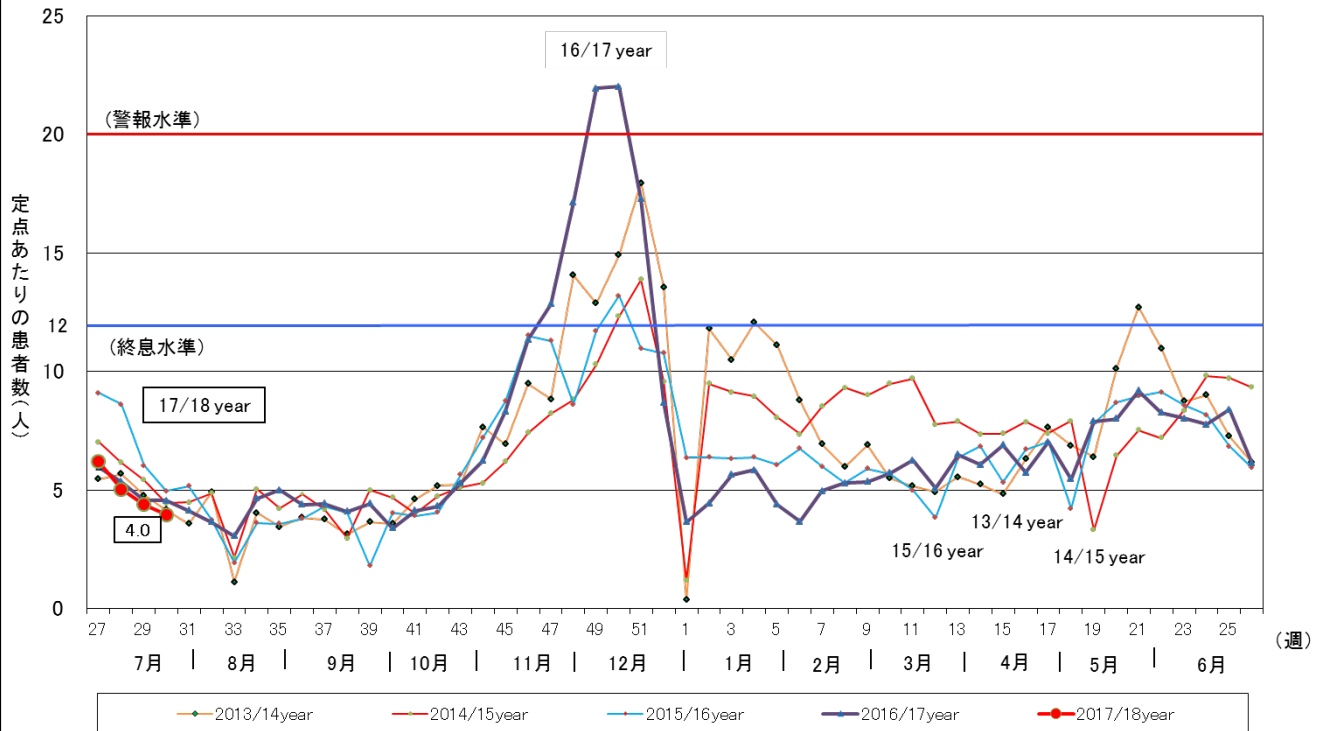
第 30 週 平成29年7月30日

手足口病



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできません、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



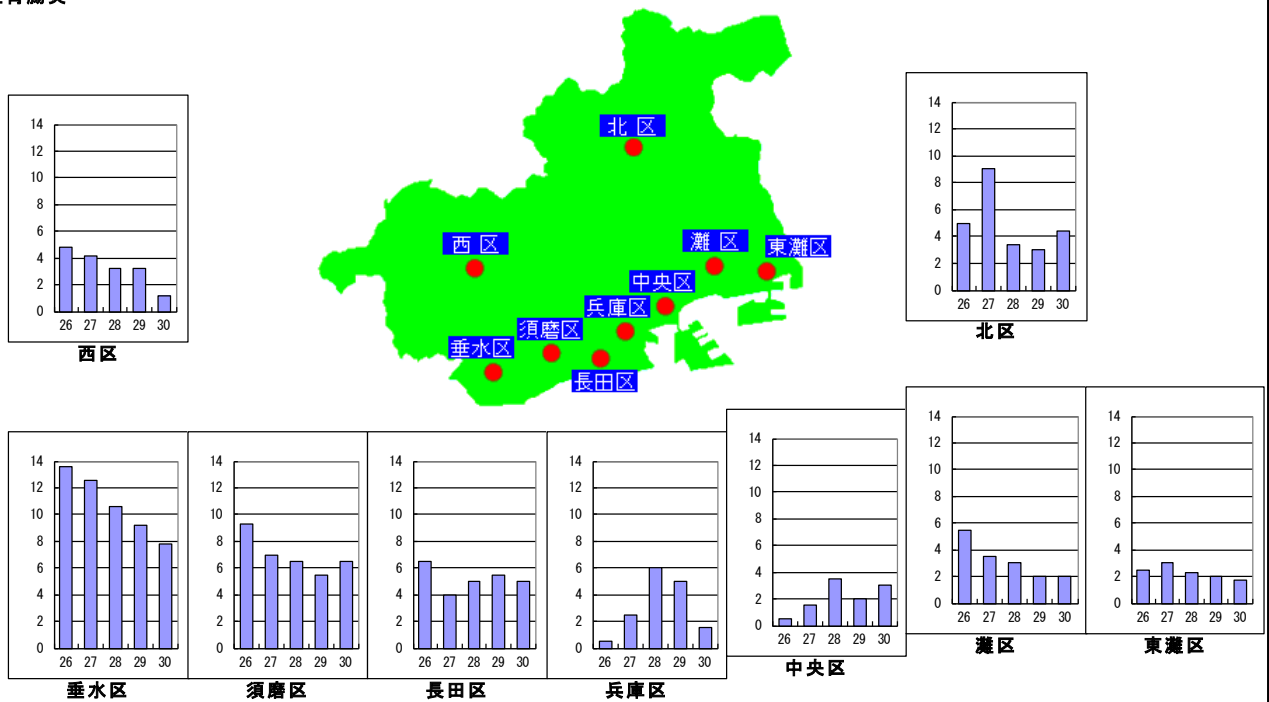
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 26 週 平成29年6月26日

～

第 30 週 平成29年7月30日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。